

徳島市男女共同参画推進ネットワーク会議設立総会 議事録(要旨)

日 時 令和3年11月24日(水) 15:00~16:30
場 所 ホテル千秋閣 6階 孔雀の間
出席者 23名(委員18名、事務局5名)

1 開会

2 市長あいさつ

3 委員紹介

4 ネットワーク会議について

5 設置要綱について

事務局 資料1 徳島市男女共同参画推進ネットワーク会議について
資料2 男女共同参画を取り巻く徳島県(市)の状況
資料3 男女共同参画社会の実現に向けての取組
資料4 徳島市男女共同参画推進ネットワーク設置要綱 を説明

6 座長・副座長の選出

委員互選により座長に加渡委員、座長指名により副座長に水ノ上委員を選出
加渡座長あいさつ

7 議題

(1) 男女共同参画の取組紹介

阿波銀行 淵本委員、阿波女あきんど塾 高木委員、
一般社団法人 徳島経済同友会 坂田委員より各団体の男女共同参画や女性活躍推進の取組を紹介

(2) 意見交換(主な意見)

A委員 当団体では、子育て世代の女性が非常に増えてきたということで、18時以降に開催していた勉強会も昼に開催している。夜の開催が、あたりまえだという感覚を変えていかなければ、本当の意味での女性の社会進出は難しいのではないかと思う。

B委員 昼の勉強会は具体的に何時から何時までなど事例があれば聞きたい。

A委員 最初は会社をサポートする側は、昼間は出られないといった反発があったが、結果多くの方がお昼の勉強会に参加されている。具体的には毎週火曜日の 18 時から開催していたのを、13 時から開催している。

C委員 政治が変わらなければなかなか男女共同参画ということ、企業が入っても浸透していかないと思う。こうしたことも議論できたらと思う。

D委員 当団体では、子育て中のお母さんと 50 代・60 代のシニア世代がペアとなって、働ける時間帯に働くというようにしてきた。また、私はこのままで良いと考えている人に、どうやってリーダー格の人たちが、意識づけをしていくかが悩みである。

また、企業と一緒に徳島の子育ての環境を良くしていきたい。子どもと楽しい時間を過ごしながらも自分も充実して働くことができるという環境作りに、関わっていきたい。

E委員 今は、お父さんも立哨やゴミ出しをする方が多くなっている。お父さんの協力なしではお母さんが仕事に行けないし、子育てもできない。夫婦が一生懸命子育てしているなど感じている。各家庭の中で話し合いをできるような世の中になってほしい。

F委員 高校生、大学生の若い世代でボランティアをしている子たちは、徳島を出ていく。なぜかと聞くと、徳島で生き生きしている同年代がいない。ロールモデルが不在だからである。そのため、若者たちのところへ大人や地域の人を入れて、街の掃除をしながら横にいる人たちと一緒に話すという活動をしている。最初はぎこちないが、話しながら清掃するとコミュニケーションも円滑になり、終わった時に、こんな働き方があるのだ、という感想が出てくる。ここにロールモデルが感じられる。ぜひ県内の企業や経済団体に参加してもらい仕事の話や育休の話などをしていただければと思う。

G委員 徳島市はコミュニティ協議会が 33 地区あるが、女性の会長が 3 人。女性は遠慮して、なかなか自分からやるとは言わず、男の人をたてるという意識が昔からあるのではと思う。そういうことからすると、女性の意識も変えていく必要があると思うし、男性を見る目も変えていかなければ、難しいと思う。お互いに男性も女性も考え方を改めていく必要がある。

座長　ここで今日始まったばかりのネットワーク会議である。皆様の御意見を集約して地元徳島を素晴らしい住みやすい街にしていきたいと思う。いろいろなネットワーク、お互いの共同体制をとっていただければ幸いである。